

平成30年度

# 事業計画書

平成30年4月1日から  
平成31年3月31日まで

公益社団法人 北海道栽培漁業振興公社

## 平成30年度 事業実施計画

### 1 栽培漁業指導事業

#### (1) 講座・セミナー・育成等事業（研修指導事業費）

栽培漁業の技術的課題に関する研修を目的とした事業のうち、「漁業生産技術研修会」は、事業の周知を図り、年2回以上の開催を目指す。「育てる漁業研究会」は、アンケート結果などを参考に、より一層の内容等の充実を図り、平成31年1月に開催する。

#### (2) 調査研究・情報提供等事業

##### ① 機関紙「育てる漁業」の発行（広報事業費）

栽培漁業に関する先進的な取組み、試験研究、地域の活動や人物の紹介等を掲載した機関紙「育てる漁業」を年4回発行し、配布する。

##### ② 北海道沿岸漁場海況速報事業（広報事業費）

栽培漁業推進上の基礎資料とするため、道内の沿岸漁場45か所において毎日観測した水温を旬ごとにまとめ、過去10年間の平均水温と対比して速報するほか、年間の水温、気象を取りまとめ、ホームページで公開する。また、関係機関と連携し、データの共有化を推進する。

また、インターネットを用いたリアルタイムの水温情報提供は、現在の9観測点からの増加に取り組み、リアルタイム観測体制の強化、充実を図る。

##### ③ 種苗生産事業実績報告（広報事業費）

栽培公社が行っているヒラメ、マツカワ、ニシン、クロソイ、アワビ、マナマコ等の種苗生産について、平成29年度事業の経過及び実績を報告書にまとめ、ホームページに掲載する。

##### ④ 技術ノウハウの収集や情報の提供等（栽培基金事業指導費）

事業開発室では、「栽培漁業に関する教育普及、技術指導及び情報の提供」に必要なデータや知見、各種ノウハウや取組事例を調査、収集し、それらの活用に向けた検討と情報提供を行うとともに、関係機関との調整等を通じて、公益事業の一層の充実や新たな発展に資する。

##### ⑤ 調査研究事業

###### i) 種苗生産技術等開発試験調査（技術開発試験調査事業費）

伊達事業所において取組んでいるマボヤ採苗試験は、種苗供給の要望の声が大きいため、平成30年度から増産を図り、試験販売する。供給先は、これまで養殖試験種苗の供給実績のある噴火湾から桧山海域とする。

熊石事業所における二枚貝の小規模種苗生産試験では、新たにシジミの種苗生産技術開発に取り組む。

また、新たに、伊達事業所において、マツカワ親魚の海水温上昇に対応した親魚飼育手法の改良試験に取り組む。

###### ii) 共同研究などの取組み（調査研究費）

栽培漁業の推進に資するための広範なテーマから、地域の活動団体、大学、研究機関と共同で、ドローンを活用した調査研究等に取り組む。

## (3) 栽培漁業指導事業予算

(単位：千円)

| 区 分                   | 予 算 額  | 前年度予算額 | 増 減   |
|-----------------------|--------|--------|-------|
| 研 修 指 導 事 業           | 867    | 1,037  | △ 170 |
| 広 報 事 業               | 3,610  | 3,717  | △ 107 |
| 技 術 開 発 試 験 調 査 事 業   | 1,431  | 1,505  | △ 74  |
| 栽 培 漁 業 基 金 事 業 指 導 費 | 3,934  | 4,508  | △ 574 |
| 調 査 研 究 費             | 7,000  | 5,000  | 2,000 |
| 合 計                   | 16,842 | 15,767 | 1,075 |

## 2 栽培漁業推進事業

## 2-1 ヒラメ種苗生産事業

## (1) 事業の概要

生産、放流事業の見直し計画に従い、羽幌、瀬棚両事業所において種苗生産、中間育成を行った種苗を、日本海北部及び南部海域にこれまでの2,200千尾から1,760千尾に変更して放流する。尾数の変更に伴い、更なる効率化と効果的放流に努め、事業の円滑な推進を図る。

## (2) 種苗生産、放流計画

|       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 羽幌事業所 | 全長30mm種苗生産 → 中間育成 → 全長50mm種苗放流 |
|       | 1,176千尾 880千尾                  |

|       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 瀬棚事業所 | 全長30mm種苗生産 → 中間育成 → 全長50mm種苗放流 |
|       | 1,176千尾 880千尾                  |

## (3) 地区協議会別放流数

(単位：千尾)

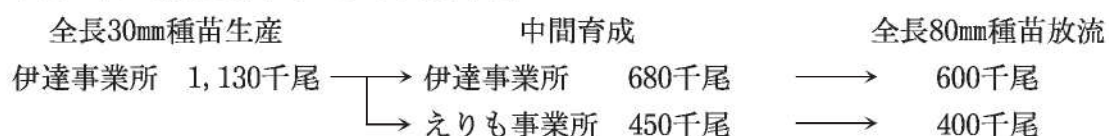
| 区 分       | 地区協議会   | 放流尾数  | 協議会内放流数   |
|-----------|---------|-------|-----------|
| 羽 幌 事 業 所 | 宗 谷     | 232   | 各協議会で決定する |
|           | 留 萌     | 320   |           |
|           | 石 狩 湾   | 328   |           |
|           | 小 計     | 880   |           |
| 瀬 棚 事 業 所 | 後 志 南 部 | 296   | 各協議会で決定する |
|           | 檜 山     | 280   |           |
|           | 津 軽 海 峡 | 304   |           |
|           | 小 計     | 880   |           |
| 合 計       |         | 1,760 |           |

## 2-2 マツカワ種苗生産事業

### (1) 事業の概要

伊達事業所において、全長30mm種苗を1,330千尾生産し、伊達及びえりも事業所において中間育成を行い、両事業所合わせて全長80mm種苗1,000千尾をえりも以西海域に放流する。また、えりも以東海域に全長50mm種苗100千尾、全長80mm種苗80千尾の供給を行う。昨年度の生産不調を受け、取水・送水系ラインの消毒、親魚入替、飼育方法の見直しなど対策を実施し、生産に望む。

### (2) 種苗生産、放流計画（えりも以西海域）

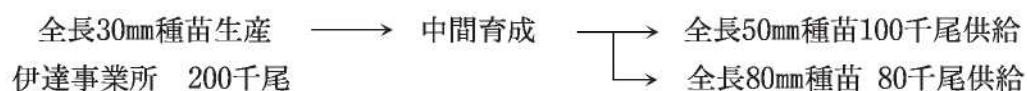


### (3) 地区協議会別放流数（えりも以西海域）

（単位：千尾）

| 区 分       | 地 区 協 議 会        | 放流尾数  | 協議会内放流数       |
|-----------|------------------|-------|---------------|
| 伊 達 事 業 所 | 渡島東部海域栽培漁業協議会    | 50    | 各協議会で<br>決定する |
|           | 噴火湾渡島海域漁業振興対策協議会 | 175   |               |
|           | 噴火湾胆振海区漁業振興推進協議会 | 125   |               |
|           | 胆振太平洋海域漁業振興協議会   | 250   |               |
| えりも事業所    | 日高管内栽培漁業振興協議会    | 400   |               |
| 合 計       |                  | 1,000 |               |

### (4) 種苗生産、供給計画（えりも以東海域）



### (5) 地区協議会別供給数（えりも以東海域）

（単位：千尾）

| 区 分       | 供 給 先         | 供給尾数 |      | 備 考    |
|-----------|---------------|------|------|--------|
|           |               | 50mm | 80mm |        |
| 伊 達 事 業 所 | 根室管内栽培漁業推進協議会 | 50   | —    | 中間育成種苗 |
|           | 十勝管内栽培漁業推進協議会 | 50   | —    |        |
|           | 釧路管内栽培漁業推進協議会 | —    | 80   | 直接放流   |
| 合 計       |               | 100  | 80   |        |



### 3 エゾアワビ種苗生産事業

熊石事業所において、平成29年産と平成30年産の種苗の育成を行い、殻長15～35mm稚貝1,313.8千個体を生産し、要望先に供給する。

供給サイズ別内訳

(単位：千個)

| 区 分    | 15mm  | 20mm  | 25mm | 30mm  | 35mm  | 計       |
|--------|-------|-------|------|-------|-------|---------|
| 平成29年産 | —     | —     | 92.0 | 613.3 | 173.0 | 878.3   |
| 平成30年産 | 250.0 | 185.5 | —    | —     | —     | 435.5   |
| 合 計    | 250.0 | 185.5 | 92.0 | 613.3 | 173.0 | 1,313.8 |

### 4 ニシン種苗生産事業

#### (1) 日本海ニシン種苗生産事業

「日本海北部ニシン栽培漁業推進委員会」の要望により、羽幌事業所において、全長60mm種苗2,000千尾を生産し、宗谷、留萌、石狩、後志北部海域に供給する。

#### (2) 後志南部ニシン種苗生産事業

「後志南部地域ニシン資源対策協議会」の要望により、羽幌事業所において、全長60mm種苗400千尾を生産し、後志南部（積丹以南～島牧以北）海域に供給する。

#### (3) 桧山ニシン種苗生産事業

「ひやま地域ニシン復興対策協議会」の要望により、瀬棚事業所において、全長60mm種苗1,000千尾を生産し、桧山海域に供給する。

事業所別供給数

(単位：千尾)

| 区 分   | 供 給 先             | 供給尾数  |
|-------|-------------------|-------|
| 羽幌事業所 | 日本海北部ニシン栽培漁業推進委員会 | 2,000 |
|       | 後志南部地域ニシン資源対策協議会  | 400   |
| 瀬棚事業所 | ひやま地域ニシン復興対策協議会   | 1,000 |

### 5 クロソイ種苗生産事業

会員等からの要望により、瀬棚事業所において全長30mm種苗216千尾を生産し、要望先に供給する。

供給先別内訳

(単位：千尾)

| 供 給 先                 | 供給尾数 |
|-----------------------|------|
| 津軽海峡地域水産人工種苗育成供給連絡協議会 | 70   |
| 噴火湾渡島海域漁業振興対策協議会      | 126  |
| 大津漁業協同組合              | 20   |
| 合 計                   | 216  |

## 6 マナマコ種苗生産事業

会員等からの要望により、熊石事業所、瀬棚事業所及び羽幌事業所において、全長10mm以上の種苗1,405.7千個を生産し、要望先に供給する。

事業所別供給数

(単位：千個)

| 区 分   | 供給箇所数 | 供給個数  |
|-------|-------|-------|
| 熊石事業所 | 18    | 997   |
| 瀬棚事業所 | 4     | 245   |
| 羽幌事業所 | 5     | 260   |
|       | 27    | 1,502 |

## 7 ハタハタ種苗生産事業

日高管内栽培漁業推進協議会からの委託により、えりも事業所において全長25mm種苗3,800千尾を生産し、供給する。

## 8 栽培漁業振興事業（種苗生産等支援助成事業）

地域の協議会等が実施する種苗生産、中間育成、放流等の事業に対して、振興基金運用益から助成する。

### 事業実施計画

(単位：千円)

| 事業主体                  | 対象魚種          | 助成対象事業費 | 助成金額   |
|-----------------------|---------------|---------|--------|
| 小樽市漁業協同組合             | マナマコ          | 680     | 315    |
| 島牧漁業協同組合              | マゾイ           | 3,731   | 1,740  |
| 津軽海峡地域水産人工種苗育成供給連絡協議会 | クロソイ          | 5,722   | 2,703  |
| 砂原漁業協同組合青年部           | マナマコ          | 1,141   | 557    |
| 噴火湾渡島海域漁業振興対策協議会      | クロソイ          | 7,928   | 3,755  |
| ひだか漁業協同組合             | ハタハタ・クロソイ     | 5,022   | 2,325  |
| 日高中央漁業協同組合            | マナマコ          | 1,174   | 550    |
| えりも町栽培漁業振興協議会         | マガレイ          | 1,407   | 651    |
| 日高管内栽培漁業推進協議会         | ハタハタ          | 7,851   | 3,635  |
| えりも漁業協同組合             | マナマコ          | 113     | 53     |
| 十勝管内栽培漁業推進協議会         | マツカワ          | 6,966   | 3,835  |
| 大津漁業協同組合              | クロソイ          | 2,359   | 1,109  |
| 根室市                   | ハナサキガニ・ホッカイエビ | 2,305   | 1,067  |
| 根室管内栽培漁業推進協議会         | マツカワ          | 4,566   | 2,303  |
| 根室管内ニシン種苗生産運営委員会      | ニシン           | 18,781  | 8,838  |
| 野付漁業協同組合              | マナマコ          | 693     | 320    |
|                       | クロガレイ         | 691     | 320    |
| 羅臼漁業協同組合              | マガレイ          | 1,283   | 590    |
|                       | マナマコ          | 1,364   | 630    |
| 網走市水産振興協議会            | マナマコ          | 403     | 186    |
| 網走漁業協同組合              | ホッキガイ         | 2,196   | 1,016  |
| 常呂漁業協同組合              | マナマコ          | 1,127   | 522    |
| 沙留漁業協同組合              | マナマコ          | 782     | 375    |
| 宗谷漁業協同組合              | マナマコ          | 3,015   | 1,396  |
| 北るもい漁業協同組合            | マナマコ          | 324     | 156    |
|                       | ハタハタ          | 528     | 259    |
| 留萌市                   | マナマコ          | 1,003   | 446    |
| 余市郡漁業協同組合             | マナマコ          | 551     | 255    |
| 東しゃこたん漁業協同組合          | マナマコ          | 1,215   | 562    |
| 島牧漁業協同組合              | マナマコ          | 2,338   | 1,076  |
| ひやま漁業協同組合乙部ナマコ振興協議会   | マナマコ          | 540     | 250    |
| 室蘭漁業協同組合              | マナマコ          | 475     | 220    |
| 根室漁業協同組合              | マナマコ          | 413     | 196    |
| 紋別漁業協同組合              | マナマコ          | 3,970   | 1,885  |
| 増毛漁業協同組合              | マナマコ          | 7,222   | 3,205  |
| 合計 32 団体              | 11 魚種         | 99,879  | 47,301 |

## 9 水産多面的機能発揮対策事業

藻場や干潟の保全を中心とした環境・生態系の維持回復や漁村の活性化、海の安全確保に関する漁業者等が行う活動を支援するため、地域協議会が事業主体として事業実施に必要な経費を助成する。

|         |           |
|---------|-----------|
| 助 成 件 数 | 136件      |
| 助 成 額   | 503,183千円 |
| 協議会運営費  | 15,000千円  |



## 10 調査事業

### 調査事業の実施方針

次の基本的な考え方を、調査事業の実施方針とする。

1. 公社は、全道の漁業協同組合と沿岸市町村を会員とする公益社団法人であることから、その基本的なスタンスは、漁業者の視点に立って考える。
2. 受託事業については、精度の高い調査と公正な判断による高品質な報告書を作成するとともに、漁業環境の保全と漁業影響を防止するための考え方を提言する。
3. 公社は、事業実施者と漁業者との間にあって、問題の解決に向けての調整と提言を行う。

### 平成30年度調査事業受託見込み

平成30年度の調査事業は、次の3点から積算した結果、受託見込みを、件数38件、金額620,000,000円とする。

1. 平成28年度から29年度までにおける受託実績の推移と傾向。
2. 継続事業の受託実績。
3. 新規受託事業の推移と傾向。

#### 平成30年度 調査事業受託見込み

| 受 託 先     | 件 数 | 受託金額 (円)    |
|-----------|-----|-------------|
| 国（開発建設部等） | 13  | 431,000,000 |
| 道（建設管理部等） | 13  | 158,000,000 |
| 公社会員      | 8   | 11,000,000  |
| その他（一般企業） | 4   | 20,000,000  |
| 合 計       | 38  | 620,000,000 |